

古事類苑

人部九

性情上

性情ハ、邦語ニ汎ク之ヲコ、ロト云フ、ロハ即チ心ニシテ、原ト萬慮ヲ總包スルノ稱ナリ、而シテ剛毅、温和、遍急、復很等ノ因テ分ル、所之ヲ性ト謂ヒ、喜怒、哀樂、好惡、愛戀等ノ因テ發スル所之ヲ情ト謂フ、

〔伊呂波字類抄^{世疊}〕性情

〔類聚名義抄^{六心}〕^{音深}心^{コ、ロ}

〔段注說文解字^{十下}〕^也人心土臧也、^{補字}在身之中象形、^{息林切}轉士說曰爲火臧、^{土臧者、古文尙書}

^{中略}○凡心之屬皆从心、

〔日本釋名^{中形體}〕心　こ、ろはこゝる也、るとろと通ず、心は凝定して、うごかざるを本とす、心の藏

はこ、ろのある所也、こ、ろぶとを凝草とかくも、此意なり、こゝるくさ也、

〔入雲御抄^{三下}〕心　人　うつし　はな　ほか　ふた　した　あたし　もろ ^{在源氏宿木卷}か

くなはと云 ^{俊頼抄}

〔伊呂波字類抄^{太疊}〕丹心

〔書言字考^九節用集^九〕^{言辭}丹心^{キヨキ、ロ、口}日本

〔倭訓栞^{前編}二〕あかきこ、ろ

丹誠 ^同 赤心 ^同 蓬心 ^{キタキ、ロ、口} 茅塞 ^{林希逸云、猶} 其心也 黒心 ^同
万葉集に見ゆ、赤心をいふなり、續紀宣命に明支淨支直支誠之心

名稱 心